

(3) 通級による指導（障害別・児童生徒数）

管内	学校別種別			小学校					中学校					計	
				弱視	難聴	病弱 虚弱	言語 障害	情緒 障害	小計	弱視	難聴	病弱 虚弱	言語 障害		情緒 障害
北	学	校	数				3								3
	教	室	数				8								8
	児	童	生	徒	数		93								93
中	学	校	数		1		2								3
	教	室	数		1		2								3
	児	童	生	徒	数	6	17								23
南	学	校	数												
	教	室	数												
	児	童	生	徒	数										
会	学	校	数		1		1								2
	教	室	数		1		2								3
	児	童	生	徒	数	8	13								21
南	学	校	数												
	教	室	数												
	児	童	生	徒	数										
相	学	校	数				3								3
	教	室	数				6								6
	児	童	生	徒	数		66								66
い	学	校	数		2		2								4
	教	室	数		2		3								5
	児	童	生	徒	数	7	49								56
計	学	校	数		4		11								15
	教	室	数		4		21								25
	児	童	生	徒	数	21	238								259
計	学	校	数												
	教	室	数												
	児	童	生	徒	数										

(4) 訪問教育対象児童生徒数及び担当教員数

	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
対象児童 生徒数	114	103	109	112	104	92	95	76	80	77	75	89
担 当 教 員 数	33	32	34	37	41	41	35	33	35	33	36	41

(5) 障害による就学義務の猶予・免除者の推移

	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
猶予者数	4	2	2	2	0	0	0	0	1	0	0	0
免除者数	4	3	5	3	8	7	4	4	5	7	5	3

※ 全就学義務の猶予・免除者のうち、障害があるために
猶予・免除となった者の数。（「学校統計要覧」による）

3 教職員人事・任用

(1) 人事異動の概要

平成10年度の盲・聾・養護学校教職員の定数は、前年比
25人増の1,035人となった。このうち、教諭等は、前年比
4人増の787人である。

① 新採用について

盲・聾・養護学校の新採用志願者数は、前年比39人減
の142人であったが、一次及び二次選考試験の結果、名
簿搭載者数は26人であり、そのうち辞退者を除き24人の
教諭採用をみた。

② 交流について

同一校永年勤務者、採用後引き続き同一校に3年以上
勤務する者等を含め71人の教諭等の交流が実現した。

また、小・中学校・市立養護学校及び福島大学教育学
部附属養護学校との交流（転入）は15人で、高等学校と
の交流（転入）は7人であり教育効果の向上が期待され
る。